

通巻200号記念 特別企画

クルマ雑誌のひとつに名を連ねながら、見るからに異色な表紙。「カーグッズ」という言葉がまだ希薄だった前世紀末。これまでにない雑誌として名を示す上で、その象徴にもなっていたのがイラストの存在だった。言葉を尽くすまでもなく、その時々を世相を写したこの表紙イラストを見て頂ければ、カーグッズマガジンというこの雑誌の歩みはもちろん、ひいてはカー用品そのものの変遷もお分かり頂けるだろう。

絵で見る、 創刊からの歩み



vol.

001

創刊号

1999年6月発売

すべてはここからはじまった

約半年、ネリに練った日本初の「カー用品専科マガジン」が世に初めて登場したのは20世紀も末の末。その大きな売りは、最新アイテムのテスト紹介。ただ単なる商品紹介ではなく、読者と共に「カーライフの楽しさ」を堪能することも大きなテーマであり、それを具現化するために表紙のイラスト化は早くから決まっていた。白羽の矢が立ったのが、「まるほ商会」こと、帆刈雅宏さん。イラストとマンガの融合とでもいうのだろうか、見事に「ヒトとクルマの楽しいライフスタイル」を表現してくれた。登場人物、そしてクルマの表情に注目して頂きたい。なお、この創刊号だけがCGMロゴから特集タイトルまでが一体化した、全てが帆刈さんの作品になっている。

(創刊編集長 ZAT)